



奉仕の声にこたえよう

ライオンズクラブ国際協会

1984-85

3.3.3-C 地区ニュース

愛の心で価値ある奉仕

1984

No. 3



主な内容

ご挨拶	L 秋場 寛…②
地区憲章を風化させまい	L 杉浦 明…③
第2回キャビネット会議・ガバナー提出議案	④
弔 辞	L 秋場 寛…④
後に続くものを信ず	L 齊藤貞雄…①
故石橋光前ガバナーのご逝去を悼む	L 吉原稔人…⑥
前地区ガバナー石橋光ライオン逝く	L 池沢 稔…⑥
スプレンデート・ゾーンチャーマン	L 山崎 茂…⑦
故大島正信ライオンの死を悼む	L 野口精治…⑦
LEO夏期研修会に参加して	中山晃男…⑧
梅の木10,000本の植樹終る	L 池沢 稔…⑨
地域ぐるみで奉仕、愛の献血・献血	⑩
愛の心で価値ある奉仕	⑪
写真でみるライオンズデー	⑫
A C T	⑯

県指定史跡 〔歌人 伊藤佐千夫の生家〕

伊藤左千夫は明治時代の歌人で名は幸次郎と言う。元治元年（1864）8月18日に殿台のこの家に父良作の四男として生まれ、明治18年上京するまで多感な青春時代をここで過ごした。明治31年、正岡子規が短歌革新運動に着手し「歌よみに興ふる書」を発表するや書を子規に寄せて大いに短歌を論じたが翌々年子規の門に入り以後もっとも敬虔な門人として短歌に精進し長塚節らと共に根岸派の重要な存在となつた。その門下には島木赤彦、齊藤茂吉、土屋文明らがいる。左千夫は短歌のほか評論や小説も著わした。小説「野菊の墓」はその代表作として有名である。

成東町



■社の声にこたえよう

■愛の心で価値ある奉仕 ■

ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会333-C地区

ガバナー L 秋 場 寛

The Principles of Governor

1. Importance of Quality (質の重要性)
2. Sence of Responsibility (分別ある責任感)
3. Consent of Family (家族的なふんいき)
4. First Choice of Family and Profession
(家庭と職業を第一に)

清らかな連想の下に新春を迎え、「潔」よい年なれと
念願しております。

公式訪問も終り、野山は霜がれ、あたかも競うかのように落葉する樹々の中にあって、間もなく白き薄化粧がほどこされてくる姿がにじんでくる向寒の夜ごろ、佳汁に接するにつけても、333-C地区メンバー同志の顔がいや増しに、ひっそりと心の中に寄り添うてきます。

こもごもの心の位相ながらライオンズの仲間として考ることを、そして愛を共有している事を痛いほどあらためて思う。

これがガバナーの脳裏に焼きつく色というのだろうか。新茶の香りが身に沁む頃大きな集いで又お会い出来る事を楽しみに。キミに促す御家族は無事か、美しい



お嬢さんは嫁いだか、そして可愛いお孫さんはお元気かと。雲も又春の装いで待て。

昭和60年元旦

*Dicer
Dr. Hiroshi Aso
Tom Kandy*

MERRY CHRISTMAS
AND
HAPPY NEW YEAR



Bert and Beryl Mason



奉仕の声にこだえよう

愛の心で価値ある奉仕

地区憲章を風化させまい

名誉顧問 L 杉 浦 明

333-C 地区が単県独立をしてから、4年目を迎えるました。年毎に地区の基盤が充実してまいりますことは、ご同慶に堪えないところであります。

当時、新地区の運営の基本や地区分割の理想実現のための具体的な事項について、新地区準備委員の人たちは、1年間の時間をかけて研究につとめ、いくつかの成案を得たのですが、その集大成として「地区憲章」を設けることになりました。原案を練り、キャビネット会議で検討を加え、更に最初の新地区年次大会において正式に採択されたものが現在の「地区憲章」

であります。

この憲章は、文字どおり地区運営の根本義とライオニズムの本旨を5つの項目に凝集させたものであります。

従って、地区運営の掌にあたる地区役員は勿論、メンバーのひとりひとりが常に念頭におき、実践につとめなければならないものであります。

地区分割の真の理想実現のためにも、この憲章が空文とならないよう、全メンバーが関心を寄せられますよう祈念してやみません。

第2回 キャビネット会議 1984.11.25

ガバナー提出議案

1. 次期ガバナー立候補者の件

1985~86年度地区ガバナー候補者として銚子ライオンズクラブ所属L. 橋口一夫を推薦いたします。

(参考) 立候補届、クラブ会長推薦書、第4R、D
DG、ZC、第3R、DDG、第7R、DD
Gの推薦書完備。 原案通り可決成立

2. 第一回キャビネット会議、議案9項の変更について
1985年5月6日(月)を1985年5月3日(祭日)
に変更したい。 原案通り可決成立

3. 第一回キャビネット会議議案第7号アワード規定
の中に次の項を追加したい。

1) YE活動優秀賞

期間中青少年の派遣及び受け入れの交換アクティビティを実施し、国際親善友好を深めたクラブ。

2) YE活動特別優秀賞

YE活動に功績顕著なクラブ。

3) アイバンク協会設立のための資金獲得を目的と

したチャリティ事業によって大きな功績をおさめたクラブ。 一部追加し可決成立

4. 年次大会収支予算案

別紙のとおり 原案通り可決成立

5. 333-C 地区合同ACT特別委員会構成

委員長 L 中台利夫

副委員長 L 細谷 実

委員 L 有田一雄

L 林 静誠

L 石毛文行

L 桐谷 岩次

L 原 孜澄

L 山崎 茂

L 木村 博美

以上9名の委員を委嘱したい。原案通り可決成立

6. 年次大会関係役員増員の件

年次大会事務局次長に茂原長生LC所属L. 米良一美を委嘱したい。 原案通り可決成立



奉仕の声にこだえよう

愛の心で価値ある奉仕

前ガバナー L石橋光 逝く



弔辭

11月28日、ライオンズクラブの大きな星、石橋先生が急逝されました。二、三日前に先生の御容態をお聞きしたばかりなのに、卒然のご逝去にご遺族、我れわれ共になすべくなく、茫然自失の有様であります。

先生は、ライオンズクラブを心から愛され、クラブ発展のため、その才能を捧げ尽して実践に移され、特に、LCIF及び青葉の森梅園については、人一倍の執念を燃やしておりました。

後事を托された私達は、先生の意のあったところを体し、ライオンズクラブの充実に励んでまいります。先生の思い出はつきません。愁傷のうちにもライオンズの明日をみつめる勇気を奮いたたせつつ、先生のご冥福を祈るばかりです。

追悼歌一首を御壇前に捧げます

みまかりの俄かを嘆き

今一度還れと願う

ライオンの声

昭和59年12月8日

ライオンズクラブ国際協会

333-C地区

ガバナー 秋場 寛

後に続くものを信ず

名誉顧問 L. 齊藤貞雄

故石橋光前ガバナーの告別式の終りに、池沢葬儀委員長前幹事が挨拶のなかで、石橋CABの合同ACTとして、千葉県立青葉の森公園に寄贈した一万本の梅の苗木が、これから十年先になって美しい紅白の花をつけ、ふくいくたる匂いを放つようになったとき、故L石橋のことを皆さん思い出して頂きたいと、涙をらえながら同級生を偲んだ言葉に深く感動した。目先だけでなく十年先に花の咲く長期的視野に立ったACTが素晴らしいと、隣席の他地区から弔慰に来た同期のガバナーが感心していた。

昭和60年は県内にLCが発足して25年、四半世紀を迎える。初期の揺らん期がまだ昨日のように思い出される。繁栄期を過ぎて最近は入会者にいささかかけりが見えて来たが、LCの奉仕の精神が不滅である限りLCも不滅である。

先駆者たちもいざれは消え去るのが運命だが、その衣鉢を継いでますますLCの灯を盛んに燃やすために、後に続くものを信じたい。



奉仕の声にこだえよう

愛の心で価値ある奉仕



弔辞を読む秋場ガバナー

故石橋光前ガバナーのご逝去を悼む

名誉顧問 L 吉 原 稔 人

たしか日本中が炎暑に包まれていた8月だったと思うが、石橋前ガバナーよりの快気祝とお電話を頂いていただけに、この訃報は私にとって衝撃だった。私が今筆を進めようとしていた、故式場倭文夫初代ガバナーの死の直前の6ヶ月の苦闘を描いた文の題は“獅子の道に燃え尽きて”である。故石橋ガバナーもまた、獅子の道に燃焼した。まことに痛恨のきわみである。

故石橋しは、キャビネット幹事を務められた盟友池沢稔Lと共に、県立千葉中学校昭和3年卒の42回生で、私の丁度20年先輩にあたる。私が故石橋Lと話をするようになってから、もう十数年になるが、自らの信念に基づいたことは断固節を曲げないので、よく議論したものである。後年“随分と小生意気な奴と思っていたが、葛城男児の後輩と判ってから、気にならなくなつた。”とよく私に話してくださいました。

近代日本の黎明期を創り出した明治の氣骨は、最後まで故石橋Lを燃焼させた源だったと想う。明治は遠くというが、今私たちにとって一番大切なものは、この燃える心であろう。心からご冥福を祈りたいと想う。合掌

前地区ガバナー石橋光ライオンを偲ぶ

前幹事 L 池 沢 稔

昨年の7月に彼が333-C地区のガバナーになる時には途中で倒れたらお前が引継いでやれと悲愴な決意を示して私を幹事にした内幕がありました。

それだから家族中の反対を押切って、ガバナーになることを決心した時点で既に遠からずこの日の来るのを自ら覚りライオンズライフに一身を捧げる覚悟であったことだと思います。

彼の一生を顧みると、自転車で患家を巡り歩いていた時代から今日まで医業に精励するかたわら、水原秋桜子先生に師事した俳句をやり自らの句集を2冊も出版し、又は「秋桜子句碑廻り」を物するために日本全国はおろか句碑を求めてアメリカ、欧洲と何回となく外遊しました。

又、詩吟を初めれば忽ち国風流の師範となり、会の重鎮となるなど流派を広めるために大いに活躍しました。

人権擁護委員となれば監授褒章を貰う程に長い間そのために尽し、千葉市選挙管理委員も長く勤めています。

多趣味で広く多くの人と交際を求めるなど一代にし



奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

前地区ガバナー石橋光Lは第30回地区年次大会をなんとか終えた、今年の6月初めから、かねて持病であった糖尿病が悪化して東大病院に入院して治療し、一旦、病状が軽快におもむいたので床上げをして自宅に帰って引き続き治療中のところ、11月に入って再び悪化したため社会保険病院から千葉大学附属病院へと移って、いろいろ検査を受け、治療方法を模索していたが、11月26日朝から容態が急変して遂に28日午後零時2分心不全のために不帰の客となられました。

最後まで梅の苗木1万本の植樹のことを心配して、病床から私や前地区運営特別委員長の矢田Lに指示をよこしていたが、病には何とも勝てず、12月5日に予定していた梅の植樹完了と引渡しに、僅かに及ばずこの世を去ったことが洵に残念でなりません。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

私と故石橋Lとは大正12年旧制千葉中へ同時に入学したのがそもそもの出会いで、後に彼が図らずも私の家の隣に来て医院を開業してからは家族ぐるみの付き合いが始って爾来、60年を超える長い長い気の遠くなる様な長期間の朋友関係にありました。

て産をなし、幾多の要職を兼ねるなど努力の積み重ねです。

ライオンズ歴について語れば1962年3月千葉ライオンズクラブ結成時にクラスメート松本洋Lのすすめでチャーターメンバーとなり、1964年千葉中央クラブに移って1968-69年間クラブ会長、1973-74年度302E-7地区D.D.G.を勤めて10年を経て1983-84年333-C地区ガバナーに就任したものです。

この間20年を超える年月ライオンズ精神を遵奉して、彼がスポンサーした人は恐らく100名を超えることでしょう。私もその一員であります。

彼がガバナーとなり私が地区幹事となってからは常に行動を共にし、ハワイの国際大会に、マニラの東洋、東南アジアフォーラムに、又国際会長の公式訪問を受けるため鹿児島に飛ぶなど、今にして思えば、それが彼の体をむしばむ結果となったのではないでしようか。地区内の各クラブ公式訪問の過密なスケジュールを組んだのも私です。責任を感じざるを得ません。一時はどっちがガバナーか判らんといわれる程に意見が衝突したことが度々あり、喧嘩していると思われた人もあった様だが、喧嘩している訳でも仲違いしている訳で

もなかった。

只お互明治の氣骨がぶつかり合っているだけなのに誤解されたかも知れない。

それも前半だけで、後半期は目に見えて気力、体力ともに衰えたせいか衝突することもなくなり、すべて私の思い通りにさせて呉れた、もうその話し合う相手もなくなり淋しい限りです。

別項の様に彼が夢であり念願であった「梅の名所をつくろう」の遠大、長期の計画はやっと実現の一歩を歩み初めました。

青葉の森公園に梅が見事に咲き揃った時に今は亡き前地区ガバナー石橋光Lを偲んでくれる人が何人かはあるでしょう。

けんらんたる人世のドラマを演出し、今、また自らの手で幕をひいて男の花道をしづかに去って行った人、他人はその死を限りなく悼むであろうが、その死顔の実に安らかであった様に自分では大満足であったことと思う。

彼こそ真のライオンであり、その壯絶なる最後はライオンズに殉じたものというべきでしょう。



逝 去

L 大島 正信 11月28日

柏グリーンクラブ



■社の声にこだえよう

愛の心で価値ある奉仕

スプレンデート・ゾーンシェアマン

7 RD・D・G L 山 崎 茂

私もデピュティーガバナーを拝命して、もう半年が経過いたしましたが、今後共単位クラブに一番近い又最も密接な関係にある、ゾーンシェアマンとの接触、話し合いを数多く行い、本年度、ガバナーの最大のアクト指針である財団法人千葉県アイバンク協会設立と、当7リジョンに課せられた地区年次大会を成功裡に終了させることであります。これには担当委員の方々とは申すまでもなく、その連繋を一層密にしなければならないと存じます。「徳川成憲百カ条」の中に“およそ業をなさんと欲するなら、老臣と共に相議し君臣合体としてこれを行ふべし聊かも私意を欲しいままにすべきからず”と極く普通な事乍ら申し述べられていますが、心すべき事と思います。

それでは、本誌をお借りして東金、山武地区の雄、第2ゾーンシェアマン・L庄司隆道について、千葉日報の記事をアレンジしながら御紹介したいと思います。

1966年1月、東金ライオンズクラブ・チャーターメンバーとして活躍、ゾーン幹事、会長等を歴任され、新聞の掲載文面には「情けは人のため……」、モットー「世話好き、十指に余る役職」というタイトルで、次のように書かれております。「テート馬車」と呼ばれているんです。」世話好きで頼まれると首を横に振れない性格、昔…田舎道を走っていた乗合馬車のよ

うに、みんな背負い込んでしまう。これがアダ名の由来らしい。

こうして引受けた役職は数えきれない程で、今でも県安全運転管理者協議会会長・東金署管内職警連会長・山武管工事業協組理事長・東金市ガス工事業協組理事長等十指に余る。東金警察「友の会」をつくったのも庄司さんでした。

神奈川県警に勤める妹さんが婦警第2期生で「長年その苦労を見聞きしていましたのでネー」一人で趣意書を持ち関係方面を駆け回った。まさに“テート馬車”である。祖先が“やんごとなきお方”的落としダネと伝えられ茅ヶ崎市の古刹の長男に生まれ乍ら、旧制藤沢中学を卒業すると実業家を志し、鉄工界に身を投じたという変りダネ。やがて兵隊にとられ復員後知人を頼って東金にきた。「九十九里といえば名代の穀倉地帯、米があるからね。」「昔とったキネヅカ」で鍔やカマを作り始め、持ち前の奉仕精神で着々と地盤を築き、三十六年後の今従業員六十人を擁する管工会社の社長さん。若き日の夢を堂々と果したわけだ。

「情けは人のためならず」というのが庄司さんの「モットー」。もっか東金市水道工事協同組合の設立準備に飛び歩くかたわら、歳末年始の特別警戒を控え、今年も寒夜の街頭監視に立ってお巡りさん達を温かく励まそうと計画を練っている。六十才。

L庄司どうぞ健康に留意され、ゾーンシェアマンの要職を十二分に果たされん事を心よりお願い申し上げます。

故大島正信ライオンの死を悼む

柏グリーンライオンズクラブ
会長 L野口精治

大島ライオンは去る11月28日、午後1時15分社業の鉱碎製造に従事中、突如として山積みした鉱碎が崩壊し、その直撃を受け不慮の死を遂げられました。享年45歳、働き盛りの人生を一瞬のうちに失つたのであります。大島ライオンは当クラブのチャーターメンバーであり、計画大会委員、ライオンステーマ、2年理事を歴任し本年度はクラブ幹事としてクラブの運営、事業活動に誠心誠意尽力されておられたのであります。誠実にして明朗活達、友情に厚く実行力に富むその人

柄はクラブメンバーの誰からも親しまれ愛されておりました。また彼は隠れた篤志家でもあったのです。秋田県地震及び山陰水害罹災者をはじめ毎年LCIFに多額の寄金をされ特に、本年度はLCIFに1,000ドルを寄贈しております。驕ることなく、ただひたすらに社会奉仕に精進されライオニズムの高揚に努められておりました。残された最愛の奥様と三人のお嬢様のお悲しみは申すまでもなく当クラブとしても惜みても余りあるライオンを失ったのであります。今はただ故大島ライオンの在天のみ魂のご冥福を心からお祈り申しあげ併せて生前大島ライオンに寄せられました地区キャラビネットをはじめ各クラブメンバーのご交誼に対し心からお礼申しあげます。



奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕



地区夏期LEO研修会に参加

LEO夏期研修会に 参加して

富津レオクラブ

会長 LEO 中山 晃男

千葉県下（C地区）のレオクラブが一堂に集めて行われるサマーキャンプが、今年は、8月17・18・19日の二泊三日で、千葉市のユースホステルで実施された。富津レオクラブからは、9名の参加だった。他クラブにくらべると、参加人数がいまいち少なかったのが残念に思えた。

今年のサマーキャンプは、例年と違って、レオ自身によって日程・行事を企画、運営してゆくという方法がとられた。このことについては、始めてなことだっ

たので反省点がいくつかあげられ、次回で役にたててゆきたいと思う。

今回の研修会でレオの心に強く残っていると思われることに、最終日の地区役員、レオ委員長御園生Lの講義だったのではないかと思う。

参加者が小学生が多くいた為、長時間にわたる講義はあきてしまうのではないかと心配したが、一時間半にわたる御園生Lの話に、皆熱中して、時間のたつのを忘れてしまったくらい充実した内容のものだった。当初の予定だと、講演という形で講演者をよんで話をしてもらうはずだったらしいが、高いお金をはらって、難しい話をするのだったら、身近にいらっしゃるライオンに、身近な話をしてもらったらということで、この様になったわけだが、今後も今回の様にしてゆきたいと思う。

さまざまなことがあったが、研修会でしか体験できない、他クラブのレオ達と、寝起きを共にすることにより、更にレオ間どおしの連帯感が高まったと思う。

最後に、いろいろとお世話をしてくれた地区役員の方々、富津ライオンズクラブの皆様、ブラザーラブの皆さんにお礼申しあげます。

ありがとうございました。



会社の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

梅の木10,000本の植樹終る



地区会計監査委員(前地区幹事)

池 沢 稔

前年度の合同アクトとして、地区全会員の絶大なる御支持をいただいた梅の苗木1万本を、これから建設される県立青葉の森公園へ植樹する事業は、予定よりやや遅れたけれど去る、11月24日より植付作業に入り、12月2日、完了をみました。

12月5日、これを実際に検収して県側に引渡すための会合を開きました。名誉顧問の皆さんを始め前年度の幹事、デピュティガバナー、ゾーンチェアマン、地区運営特別委員長、副幹事、副会計、本年度のガバナー、幹事、会計、デピュティガバナーそれに県係官、納入業者など26名が参集しました。

先ず広ぼう64ヘクタールの青葉の森公園予定地である旧畜産試験場跡地に県係官の案内で現地に赴きました。初めて入る人が多かったのでその広さにまず驚かされました。

仮植えされた場所附近は綺麗に刈込みされた旧牧草地で給出塔も立っているので北海道に行った様な錯覚を覚える程に広々としていました。

それぞれ1米50cmに剪定された一年生苗木を丁寧に一本一本手植えしてビニール支柱に縛着して1万余本が整然と並んだ様は実に壯観でした。

これが早いものは来年から少しほ花をつけ5年もすると立派な花木に成長するという、さぞかし公園が完成する時には、全国一番の梅の名所になるでしょう。

これも今は亡き提唱者前地区ガバナーL.石橋光を初めとして、これに協力していただいて、実際いろいろ批判のある中で募金にたずさわれたデピュティガバナー、ゾーンチェアマン初め、各クラブのリーダーシップをとられた方々のおかげであります、感謝の言葉もありません。

私などもこの梅の樹が咲き揃って実を結び、その実を収穫するACTができるかどうか訳りませんが、石橋前ガバナーの夢は実現をみました。

あとは皆さんにこれから維持管理を「よろしく」とお願いするだけです。





奉仕の声にこたえよう

■ 愛の心で価値ある奉仕 ■



地域ぐるみで奉仕

愛の献血・献眼

東庄ライオンズクラブ ▶



◀ 八日市場ライオンズクラブ

松戸ライオンズクラブ ▶



この日、献眼 5 名 献腎 2 名 の登録があった

◀ 松戸東ライオンズクラブ



事社の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

船橋中央ライオンズクラブ ▶



◀ 旭ライオンズクラブ



東金ライオンズクラブ ▶





奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕



愛の心で 価値ある奉仕

独居老人を東京ディズニーランドに招待
▼ 習志野ライオンズクラブ



台湾竹南LC（習志野LC友好クラブ）へ習志野LCと同行。福祉事業助成金の贈呈
習志野中央ライオンズクラブ

少年野球大会
市川北ライオンズクラブ ▶



消防署に指令車贈呈
佐原ライオンズクラブ



単位の声にこだえよう

愛の心で価値ある奉仕

障害者との「ふれあい広場」

(於ライオンズ公園)

旭ライオンズクラブ



敬老大会で喜寿を迎えた老人33名に紫色の座布団を贈る

◀ 神崎ライオンズクラブ

写真でみる

ライオンズ デー

ボーイスカウト・ガールスカウト・リトルリーグ少年野球等の協力を得ての大クリーン作戦
船橋東ライオンズクラブ



◀ 流山ライオンズクラブ



奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕



ライオンズ花壇の除草作業

多古ライオンズクラブ



さつきの植樹奉仕
山田町ライオンズクラブ ▶



柏中央ライオンズクラブ

松戸ライオンズクラブ ▶





奉仕の声にこだえよう

愛の心で価値ある奉仕



◀ 九十九里ライオンズクラブ



老人ホーム慰問
習志野ライオンズクラブ ▶



平和園生により植替られたフラワーポット
◀ 大綱白里ライオンズクラブ

敬老の日町内在住の米寿の祝を迎えた老人に
記念品を贈る

東庄ライオンズクラブ ▶





奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

松戸まつりでメンバーによる餅つき大会
松戸中央ライオンズクラブ



町民体育大会でクリーン作戦を参加者に協力を
をお願いする
千潟ライオンズクラブ



街頭で覚せい剤乱用防止を訴える……
7RI ザーンのメンバー

千葉県高校生弁論大会開催

1. 主 催 ライオンズクラブ国際協会
333-C 地区
千葉県高等学校弁論連盟
2. 後 援 千葉県教育委員会
3. 日 時 昭和60年1月26日(土)
午前9時30分集合
4. 会 場 千葉県文化会館小ホール

第31回年次大会

県都、県北をはなれ、はじめての地方開催とて
委員会はとまどい、苦慮しつつ準備を進めていま
すが、間もなく登録受付の開始です。

大勢のメンバーの登録、ご参加をお待ち致しま
す。

期 日 昭和60年5月3日
場 所 茂原市 市民会館

P R 情報委員長：安川恵司、 P R 情報委員：菊池正一、桜井一正、吉川佳彦、林 寛躬
曾我浅治郎、河名 廣、井原千春、 地区ニュース編集委員：鎌田雅郎 高見利信